

路交通法違反（救護義務違反）の疑いで逮捕した。

当該タクシーの運転者は、警察に対して、「何かにぶつかったが、人を轢いたとは気づかなかった。」と話している模様。

（３）タクシーが横断歩道上の歩行者を撥ねた事故

１２月２３日（金）午前１時２５分頃、大阪府において、府内に住所を置く個人タクシーが空車で走行中、交差点を通過しようとしたところ、横断歩道上の歩行者を撥ねた。

この事故により、当該歩行者が死亡した。

事故当時、当該交差点の信号は、当該タクシー側が青信号で、当該歩行者側は赤信号であり、当該歩行者は、当該横断歩道の中程まで渡った後、引き返してきたところで当該タクシーに気づき、その場にしゃがみ込んだ模様。

（４）タクシーが交差点で自転車に乗った女性を撥ねた事故

１２月２３日（金）午前１時３０分頃、東京都において、都内に住所を置く個人タクシーが空車にて走行中、信号機のある交差点を青信号で通過しようとしたところ、交差点内で転倒していた女性（２１歳）を撥ねた。

この事故により、当該女性が死亡した。

事故当時、当該女性は、自転車に乗って当該交差点の右側から進入し、当該個人タクシーの前方を走行していた別のタクシーの右側面に衝突して転倒したため、当該別のタクシーは、道路左側に回避し、当該女性の救護を行うところだった模様。

（５）タクシーが鉄道車両と衝突した事故

１２月２３日（金）午前５時４０分頃、青森県の踏切において、同県に営業所を置くタクシーが空車で走行中、鉄道車両と衝突した。

この事故による負傷者はなし。

事故当時、当該タクシーの運転者は、遮断機が下りてきたのを確認し、踏切手前で停車したが、踏切との距離が長かったため、少し前に出ようと前進し、再停車しようとしたところ、スリップして遮断機を突き破り、踏切内を通過中の鉄道車両の側面と衝突した。

事故当時、周辺は吹雪で路面は凍結していた。

この事故の影響で、路線の一部区間（上下線）が運休したほか、最大６時間１０分遅れた。

（６）タクシーが横断中の歩行者を撥ねた事故

１２月２９日（木）午前１時頃、福岡県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客１名を乗せて運行中、横断歩道のない道路を横断していた歩行者（男性、６１歳）を撥ねた。

この事故により、当該歩行者が死亡した。当該タクシーの運転者及び乗客は

国土交通省では、これまでも降積雪期の輸送の安全確保について注意喚起してきたところですが、依然として毎年雪による自動車事故等が発生しております。特に昨冬期は、気象観測史上最高の降雪量や一日で通常の年間降雪量を超える量の降雪が記録されるなど、異常な降雪状況となったことにより、多数の走行不能車両が発生し、長時間にわたり道路交通が停滞する状況となりました。

このような状況を踏まえ、今般、「降積雪期における輸送の安全確保の徹底について」（平成23年12月22日付国自総第250号、国自安第52号、国自情第128号、国自旅第121号、国自貨第59号）により、自動車局長から降積雪期における事故防止対策の徹底に努めるよう、関係団体あてに通知しました。

以下の項目を徹底し、事故防止に努めましょう。

*バス、タクシー、トラック共通

(1) 気象情報や道路における降雪状況等を適時に把握し、以下の対策を講ずることにより、輸送の安全確保に万全を期すこと。

- ① 積雪・凍結等の気象及び道路状況により、早期に適切な方法でスタッドレスタイヤ及びタイヤチェーンを装着するよう徹底を図ること。
- ② 点呼時等において、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行うこと。
- ③ 積雪・凍結時における要注意箇所の把握に努めること。
- ④ 気象状況が急変し、安全運行が確保できないおそれがある場合は、運行計画の変更等の適切な措置を講ずること。
- ⑤ 乗務員に対して、スリップの要因となる急発進、急加速、急制動、急ハンドルを行わないよう指導するとともに、道路状況、気象状況に応じた安全速度の遵守、車間距離の確保について指導を徹底すること。

*バス

(2) 乗務員に対して、高齢者、障害者等災害時要援護者の乗客に留意し、他の乗客の理解を得て優先席等の使用を促すとともに、特に車内事故の発生原因となる発車時及び停車時の離着席及び車内移動について注意喚起するよう指導することにより、高齢者や障害者等災害時要援護者の車内での転倒事故防止に努めること。

(3) 鉄道輸送が困難な場合のバスによる代替輸送等緊急時の輸送対策に万全を期すること。

*レンタカー

(4) 降積雪期における道路状況、気象状況に応じた安全速度の遵守、車間距離の確保等の留意事項について、利用者に対し周知するよう努めること。

*バスターミナル

- (5) 気象情報（大雪や暴風雪等に関する警報・注意報を含む）や施設内における降雪状況を適時に把握し、施設内の除雪等を安全かつ適切に行うこと。
- (6) 除雪体制並びに万一の災害時の情報の連絡体制について再確認の徹底を図ること。また、関係機関との情報の連絡体制についても再確認を図ること。

* 自動車道

- (7) 気象情報（大雪や雪崩、暴風雪等に関する警報・注意報を含む。）や道路における降雪状況を適時に把握し、道路の除雪等を安全かつ適切に行うこと。
- (8) 各出先機関や委託業者も含め、除雪体制並びに万一の災害時の情報の連絡体制及び復旧体制について、再確認及び徹底を図ること。また、関係機関との情報の連絡体制についても再確認を図ること。
- (9) 雪崩等の危険箇所の状況について、専門家の協力を得るなどにより点検を行うとともに、危険防止のため必要と認めるときは直ちに通行規制の措置を執るなど、迅速かつ適切に対応すること。
- (10) 降雪や雪崩等により道路の交通障害や災害が発生した場合は、関係機関等との連携を図り、迅速な復旧を図るよう対応すること。また、特に豪雪時においては、関係機関が連携して情報共有を図る情報連絡本部を設置するなど、安定した道路交通の確保に向けた、より緊密な連携体制を確保するとともに、道路利用者等に対する適時適切な情報提供に努めること。



【3. 年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施しましょう！】

国土交通省では、輸送機関等に人流・物流が集中する年末年始に臨み、各自動車運送事業者等について、自主点検等を通じた安全性の向上を図るとともに、輸送安全等に対する意識の高揚を図るため、12月10日～翌年1月10日までの期間を年末年始の輸送等に関する安全総点検実施期間と定めております。

各自動車運送事業者等の方々におかれましては、期間中に下記URLの掲載された点検表を利用し輸送等の安全の確保に万全を期するために自主点検を実施しましょう。

(http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html)



【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車局安全政策課

* このメルマガについてのご意見は、< jiko-antai@mlit.go.jp >までお寄せください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html> ）

【参考】

* 自動車局ホームページ

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> ）

* 自動車の不具合情報はこちら

最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことはありませんでしたか。そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

・ ホームページ受付 （ www.mlit.go.jp/RJ/ ）

・ フリーダイヤル受付 0120-744-960

（平日9:30～12:00 13:00～17:30）

・ 自動音声受付 03-3580-4434（年中無休・24時間）

* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

